

シルバ－ 江田島



ワークプラザ 開設記念号

平成10年5月1日

〈発行〉

(株)江田島町シルバ－
人材センター

江田島町中央1丁目15番の15

TEL (0823)42-5211



ワークプラザの 竣工によせて

江田島町長 平木 重巳

シルバ－人材センター各位のご要望に応え、このたびワークプラザを建設することが出来たことを大変喜んでいきます。これも偏に、池田代議士、山田県会議員はじめ、県ご当局また、町議会のご理解とご支援のおかげであると感謝しています。

新年度には、プラザの隣接地を都市公園として本格的に整備することとしています。その一角に位置するワークプラザが、周囲の整った環境の中で、皆さんの活動拠点として十二分に活用していただきたいと存じます。

思えば、平成四年十月、社団法人として発展的な発足をとげた本町のシルバ－人材センターが、理事長さん、事務局長さんはじめ役員と会員が一致団結してその実績を挙げてこられたことは、本町の活性化、また、生涯学習の立場からみても非常に喜ばしいことで、今や先進的役割を果たしておられると思っています。

それだけに、会員の皆さんのお仕事には社会的評価と責任が伴ってくると思います。センターの今後の発展を心から切望しております。

座談会

ワークプラザが出来て

三月十九日の午後、ワークプラザ建設にまつわる苦勞を福祉保健課長の宇根さん、都市計画課長補佐の平根さんを招いて話していただきました。シルバーからの参加は山佐理事長、司会の風呂井事務局長。記録は下谷でした。

平木町長の尽力が大きい

司会 今日はお忙しいところをおいでいただき、ありがとうございます。実はこのワークプラザ建設にあたって町の方の苦勞されたこと、心を配られたことなどを話していただきたい。みなさんのご苦勞を会員みんなが理解し、このワークプラザを有効に利用したいと考えています。

ところで、町の長期総合計画の中での建設予定は確か平成八年でしたか……。

宇根 二井町長の時、矢之浦の町営住宅の所か、小用の町民グラウンドの所という考えでした。この時の予算は、補助金二、〇〇〇万円、町から二、〇〇〇万円出せばということで、笠岡市のシルバーの見学に行きました。

山佐 平成五年の当時は矢之浦でという話が強かった……。

宇根 笠岡シルバー見学のとあと平木町長が就任されて話が具体化しました。

山佐 前町長の時はワークプラザよりもシルバーの体制づくりが中心で

あった……。

司会 平成八年九月に米子市のシルバーの見学に行きました。町の職員の方も同行していただきました。私たちは、米子のワークプラザのよさを生かして江田島に建ててもらおうと考えました。町が事業主体で建設し、シルバーに運営を委託されるという形で……。

宇根 予算は、最初は五、〇〇〇万円程度の予定でしたが、ワークプラザの規模、拡大を図るため、予算獲得に平木町長は何度も労働省に陳情に行き、県などにもお願いに行きました。

入口、作業室、倉庫などの配置を考えに考えました

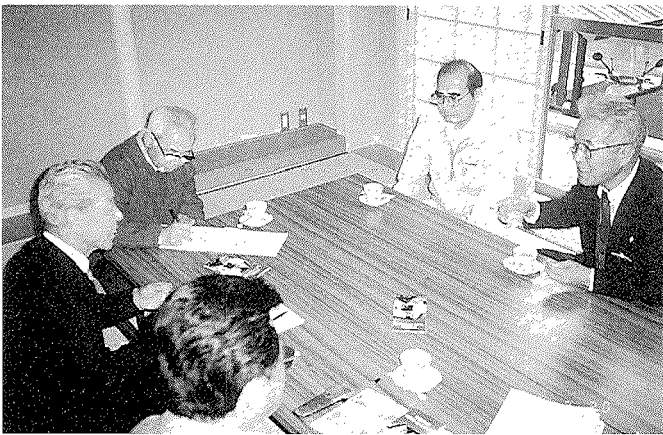
司会 財源をどこに求めるかで大変なご苦勞があったようですね。ところで、実際に建設に着手されるようになってからは……。

平根 設計事務所は入札で決めました。設計の段階では、入口、作業室、倉庫などの配置をどうするか、都市計画課長、福祉保健課長、シルバー理事長など集まっていただき、考え

に考えました。事務室は最初、南側にと考えましたが、全体の関係から今の場所にしました。竹細工の作業室は、床や壁が拭けるように仕上げました。研修室と障子・襖の作業室は二つに仕切る余裕がなかったため、共用とし、壁の色とどうするかで心を砕きました。あと一つ、水圧が低いので瞬間湯沸器が使えるか、また、電波障害はないかと心配しましたが、ほぼ大丈夫なので安心しました。

司会 その他に心を砕かれたことは。平根 外観、特に屋根、軒先をどうしたらよいか検討しました。そして、合掌造りに近い重厚な屋根と色にしました。

宇根 南側に犬走りがありません。それは、障子や襖を入れる時、段差



のない方がよいことを笠岡の視察で教わったからです。

平根 公園の方からは出入り出来ないようにするつもりです。出入口の所を除き、植木で仕切ろうと考えています。

司会 出入りは土足のままで？

平根 あの出入口は風通し、緊急時の避難用にと考えています。だから、あそこは、常時出入りする場所とは考えていません。

司会 展示ロビーを広く、明るくしてもらったのはよかった。

平根 あれば、作型をかざる展示ホールが必要ということで設置しました。展示ホールの天井を高くすると金がかかりますが、ゆとりある空間が必要と考え、このようになりました。

司会 あそこに、作品をきちんとした展示がしたいものです。

平根 設計事務所の方でもいろいろ苦勞されたようです。

司会 下履きのまま入れるような造りでないと活動的ではない……。

平根 そうですね。土足で入れる施設でない……。私は、公共の施設は本来、土足で出入り出来る方が使いやすいし、それが一般的な動向だと思っています。これもそうでした。

司会 竹細工の作業場の裏に駐車できるの、とても楽です。また、倉庫も広いし、会員はみな喜んでいます。

平根 駐車場には、勾配がついていますが、これは身体障害者の方々のアプローチを考えてのことです。



司会 今まで秋月小学校をお借りしてやっていた竹細工教室は、この作業室を使って毎日やっています。平根 工作室に集塵機を考えるとありますが、将来は携帯用の集塵機を設置すればよいのではないのでしょうか。山佐 総領町の老人クラブに行ったら、その作業場にダクトが設置されていました。

公園はどうなるのか

司会 それは今後のとりくみの中で考えましょう。ところで、いま会員が関心を持っているのは、裏の公園がどうなるかということですが。

平根 健康公園ということで整備していく計画です。まず、健康歩道とう名の三十メートルくらいの円い歩道、健康ぶらさがり器、子どものための複合遊具、幼児用のスプリング

遊具などを設置する計画です。さらにせせらぎを流し、それにゲートボール場が二面くらいとれる多目的広場を考えています。公園の周りに植栽を行い、裏手の丘には頂上までの遊歩道を作る計画です。公衆便所の設置も計画しています。

宇根 せせらぎの水は。

平根 水が十分あればホタルをと考えています。

折角造ったのだから

どンドン利用してほしい

司会 そうなるといいですね。ところで、町として私たちに對する要望

事務局だより

あなたも

就業してみませんか

当センターにおける就業率は、六九・九％です。(全国平均七四・八％)

シルバー会員になられて、年間を通じて一日も就業されていない未就業の会員がおられますが、自分に適応した仕事があったのでしょうか。自分に合った仕事とはどんな仕事でしょうか、一度センター職員と相談してみてください。当センターには、毎日いろいろな内容の仕事が受注されていますので、あなたに合った仕事があるかもしれません。

は。
宇根 折角造ったワークプラザです。で、会員や町民の方がどンドン利用してくださることを願っています。
平根 公園ができれば、周りの環境はずっとよくなると思います。
宇根 町の名所にしたいですね。
司会 長時間どうもありがとうございます。

私たちも町当局のご厚意を無にしないように、そして、平木町長のご努力に報いるようワークプラザの有効利用を図っていききたいと思っています。

仕事をしたいのに事務局から何も連絡がないという方や、自分に適応した仕事がないとお考えの方も、ぜひ事務局の方までお問い合わせいただきたいと思います。

今就業されている会員さんは、「仕事の現場が、人と人とのふれあいの場となり、町内各地の人を知ることができ、今までなかった人間関係もつくることになり、楽しく就業することが生きがいになっている」と話しておられました。一日一日を有意義に過ごしていくためにも、無理をしないで、できる範囲で多くの会員さんに就業していただくことを願っています。ご連絡をお待ちしています。

江田島町シルバー人材センター
電話 四二一五二二一

自立・自主
共助・共働

働く意欲のあるあなたの入会を

センターは待っています!!

会員募集中

※知人・友人をご紹介ください。

社団法人 江田島町シルバー人材センター

広島県安芸郡江田島町中央一丁目15番15号

TEL (0823) 42-5211

FAX (0823) 42-5051

座談会

班長さんに聞く

三月二十三日、班長会に出席された班長さんに感想を聞きました。
 司会は風呂井、記録は下谷でした。

いいのが出来て安心していきます

司会 今日はどうもご苦労さまです。交流館からの移転はほぼ完了しましたが、倉庫はまだ未整備のままです。今日は、ワークプラザの完成を祝って特集号を出すのに、班長さんたちの感想や抱負を載せたいと考え、時間をとって話をしました。何でも思っていることを話してください。

新久 いいワークプラザが出来て、安心していきます。

山佐 法人化する頃から、森さんを中心にワークプラザを作ろうと話していました。当初は、ワークプラザがどんなものかわからなかったのですが、いろんな所を視察してその内容もわかり、必要性を痛感するようになりました。それが、今度出来上がったので喜んでいきます。

樽本 いいのを建ててもらったと喜んでいきます。切串の方では、どこにあるのかとよく聞かれます。一度行ってみてはと話していますが、場所が目立たない。今まで、いろんな所に

研修に行きましたが、こんな立派なのはあまりなかった。いま、草刈機の置き方を検討中です。学校の体育館のように、奥に舞台を設け、その下に台車を入れて収納するようにしたら収納も楽だし、場所も広く使えると思います。

榎野 ゆったりした立派なもので、働き甲斐があるという気がしています。

樽本 裏の平地はどうなるのですか。

司会 平成十年度早々に公園整備が始まるということです。公園には車は入らないはずですが、物品の搬出入は作業所の出入口から行います。地面がじりじりのは整備される予定です。

人の集まる場所にしなければ

森 こんな立派な施設を作ってもらったのだから、これをいかに活用するかが今後の課題ですね。シルバーの拠点として人が集まってくる場所にするのを第一に考えたい。レクリエーションをしてもよいし、ともかく人が集まるようにしなければ、町が力を入れてくれたことに対して申しわけがたちません。

樽本 襖貼りの講習会の際には、知らない人も来ていました。あんな催しはよいのではないですか。

山佐 イベントをやるのはどうですか。竹細工や面打ちなども……。

司会 襖貼りの講習会では、当初十五人か十六人くらいと予想していましたが、ところが申し込みは三十二人、当日の参加者は四十人くらいでした。

この講習会は研修室・実習室を利用してできました。新年度になってからも、関係機関と連絡をとり、このような実技講習会を開催したいと考えています。倉庫は大きいのを作ってもらいました。

樽本 作業室に出入りするにも楽です。でも、シルバーの駐車場だけでは狭いように思います。

司会 公園の駐車場を利用できれば、と考えています。会員以外の方にも開放して、週のうち何曜日か日を決めてやっていきたいと竹細工の担当者と話していました。いま、江田島町内の小・中・高校からも施設を見せられという要望も出ています。下谷 県道脇に案内板を立てたら、場所がわかると思います。

山佐 町当局などに話してみましょ



う。
 司会 作業室は襖・竹細工用として、造ってもらいましたが、こんな使い方があってはならないかという考えがあったら出してください。

刃物研ぎなどをやったら

司会 子どもたちの補修塾として活用している地域もあるようですが。
 山佐 包丁などの刃物研ぎは……。
 森 そういう事業をもっとPRしたら。

司会 大工さんの経験のある人が数人、新しく加入されたので、刃物研ぎは出来ます。

バイス台を備えたい

司会 倉庫の入口に研磨機を置いて、草刈機の刃の研ぎ直しができるようにしたいと思っています。

樽本 エンジンを整備するにはバイス台がいります。倉庫の床の上に鉄板を敷き、その上にバイス台を置くといひでしょう。この前、エンジンの掃除をしました。倉庫の中に設けるのがいいでしょう。

司会 竹細工用のサンダーはいちいち外に持って出しています。

樽本 固定したサンダーで砥げば真っすぐ砥げます。研磨機は粗いものと密なのと二種ほしいですね。

新久 むこうにある。あれでやればいい。

榎野 この前、小用小学校から刃物を砥いでくれと頼まれました。砥い

であげたのですが、とても喜ばれました。
新久 誠心園に行くと、いつでも包丁を砥いでくれと頼まれます。でも、ステンレスの安いのはナマクラで駄目です。

司会 この施設にはシャワールームがあります。夏場の作業のあと、シャワーで汗を流してもらえたらと考えられています。

森 これから使っていく中で、いろいろと要望や改めたいことが出てくると思っています。そういうものをどんどん出してもらい、改善・充実していったらいいでしょう。

司会 運動公園でゲートボールくらいは出来ると思います。また、この視察に団体で来られる場合は瀬戸内海汽船から、船の割引制度があると言われました。この利用も考えたいと思います。

森 仕事も大切だが、何と言っても身体が第一だから遊びもと入れてやっていくことが必要。また、みんなが参加できるイベントなども考えて……。

下谷 研 修室に囲碁、将棋盤の用意



しておくといいのは……。
森 ゲートボールなどの運動もやりましょう。あれは結構、頭や身体を使うから。

司会 経済を優先する考え方もあり

百名余の参加で開所式盛大に挙行される



四月三日、午前十一時より「江田島町シルバー人材センター事務所・ワークプラザ開所式」が出来たばかりのワークプラザで来賓・会員一〇

〇名余の参加で盛大に行われました。会は、風呂井事務局長の司会で始まり、主催者挨拶で山佐理事長は、

「開所式が盛大に出来たことを喜ん

ますが、忙中閑ありという姿勢も大切だと思います。これから、みなさんのご要望に添うよう努力します。今日はどうもありがとうございます。

でいます。ワークプラザが出来るまでは、事務所も狭く、倉庫・駐車場も分散していました。このワークプラザが出来たからには、従来の仕事に加えて、刃物砥ぎ、障子・襖貼り、家事援助などの新しい事業の開拓をと考えています。今後は自主・自立・

共働・共助の精神に基づき、事業の進展をと考えています。」と、町や県、国に感謝のことはをのべました。田口広島県シルバー連合会会長は、

「会の発展は会員額に汗して働いた汗と事務局の努力のたまものと思っています。これから来る高齢社会では、私たちの経験・技量を生かし、社会に奉仕することが私たちの大切な責務と考えています。この立派なワークプラザを拠点に、ますますの発展を期待しています。」

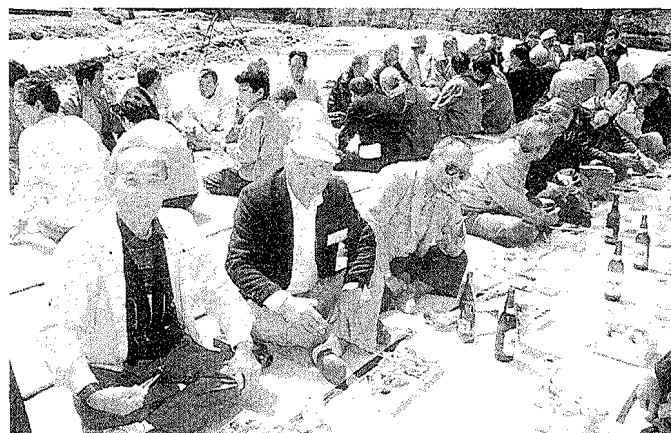
平木江田島町長からも、お祝いと期待のこもった挨拶がありました。

健康公園予定地で

祝賀観桜会

祝賀会が終わると、健康公園予定地で観桜会。

会員の有志と事務局員は地面にシー



トを敷き、その上にゴザを敷き、料理やビールを並べるなど、会場づくりに大いそがし。
十一時四十分、町議会副議長さんの音頭で乾杯。にぎやかに懇談が始まりました。

前の丘の数本の桜は満開。

「桜の前の雑木をシルバーで伐るといいね。町は金がないので、できないだろう。」

吹く風が冷たく、

「ビールより酒がいいな。」

の声に、事務局員は熱中注ぎに大忙し。カラオケも始まり、盛り上がりたところで、午後四時散会となりました。

準備、片付けに働かれたみなさん、ありがとうございました。

予定時間を超過した視察研修

山陽町シルバーを訪ねて

二月九日、山佐理事長、風呂井事務局長を含む十四名は朝七時半、術校前を出発、山陽町に向いました。車は早瀬、音戸大橋を渡り、阿賀から西条インターチェンジに。そこで一休みして山陽道を一路東進します。予想していた渋滞もなく、予定よりも一時間くらい早く吉備サービスエリアに到着。車中での弁当昼食が休憩所でのそれになりました。午後一時前、山陽町シルバー人材センターに到着。

予定時間を超過した視察研修

研修会は山陽町の赤松理事長の挨拶で始まりました。

山陽町は昭和二十八年、近隣三か村が合併した町で、周囲を山に囲まれた盆地の中にありました。既村の人口は一万八千人、それに昭和四十年代に県営、大和ハウスの兩大型団地が出来、現在、人口は二万五千人、仕事は草刈り、剪定



作業が多いようです。

センターは平成三年、会員六〇名でミニシルバーとして発足、同五年一五〇名の会員で法人格をとり、現在会員は一八三名、全員就業可能の者です。

次いで、山佐理事長のあいさつ。その後、山陽町の河内事務局長の同センターの説明に移りました。

財政の面では、国の削減分は町で負担するよう働きかけている。補助金の削減のため、事務費を5%から10%に引き上げることを検討しています。

会員の就業率は八二・一%、これは法人格をとるために会員となってもらった人の中で就業を希望しない人を話し合いで退会してもらったため。

ワークプラザは平成七年に完成、事務局員は六名、事務局次長は町の職員で給料は町で負担しています。

来年度予算は一億円を上まわる予定。金融機関は農協、手数料不要。

会員の募集は、シルバーの車にスピーカーをつけ、作業に行く時に流す。また、車体にシルバーの住所と募集案内を書くなどの宣伝を行っています。入会を希望する人には希望作業第二まで書いてもらい、第一希望をもとに班編成を行っており、班には班長、副班長を置き、班長会を

定期的にもって意識疎通を深めています。

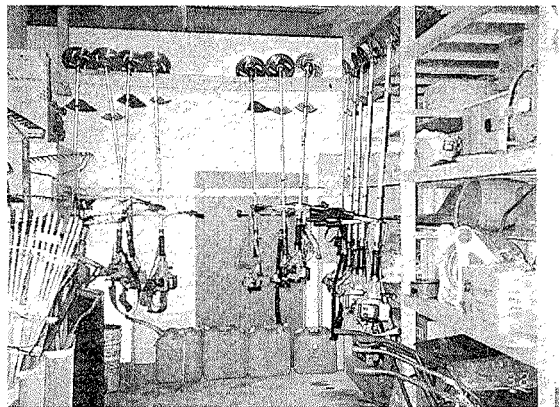
班長はまた、安全推進委員

「シルバー山陽」の編集委員を兼ねています。

広報誌は千部印刷、色刷りにすると費用が三倍以上になるのでモノクロで出しています。

家庭用の生ゴミ処理のため、町は容器二、ボカシ二袋を四、二〇〇円で町民に頒布（町は二、〇〇〇円補助）、その取り次ぎ、販売を町から委託されてやっている。手数料は5%。これをやると町の生ゴミが90%ぐらい減る。

ボカシ



盛り上がった懇親会

盛り上がった懇親会

その夜は姫路市の北の塩田温泉で一泊。温泉につかって疲れをいやして懇親会会場。飲み、食べ、懇談が続いてカラオケ。みんな歌好き、それにとっても上手。歌は二時間近く続きました。散会後、飲み足りないものは二次会、そこでも盛り上がったようです。

十日は、まず姫路城の見学。本丸の城郭の大きいのに驚きました。姫路市の方の案内で一時間かけて本丸見学。純白の天守閣を背景に記念写真を撮り、赤穂に向いました。

赤穂城跡に着いたのは十一時過ぎ。茶店の方の案内で大石神社参拝、記念館を見学後昼食。

午後一時に出発。山陽道を一路江田島に。途中渋滞もなく、五時過ぎに全員無事に術校前に帰着しました。